

第33期 事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

1. 会社の現況に関する事項

北海道内7空港の一括運営委託の審査工程は、スケジュールは通り進められています。当年度は、当社を含めた第一次審査の競争的対話のプロセスが実施され、3コンソーシアムによる現場確認およびヒアリングが行われました。翌年度には2次審査を経て優先交渉権者が決定され、その後の令和2年1月には、特別目的会社（SPC）による7空港一体のビル経営が開始されます。

当社は、新千歳空港における唯一の国際貨物の物流拠点であり、増加する貨物取扱量に対応するための体制および設備の充実を図り、継続して安定した経営を推進していく所存であります。

(1) 新千歳空港の国際化をめぐる諸情勢について

当期も新千歳空港国際線利用者数は、前年度対比110%となりました。

3月現在、31社のエアラインが就航しており、国際線ビル拡張工事はその施設の全貌を現しており、令和2年の完成が待たれます。この完成により更に利用者は増加すると推定され、北海道の国際化、観光振興、地域経済の発展に弾みがつき、旅客・貨物量共に大幅な拡大が期待されております。

平成30年度の年間乗降客数は、国内線19,777千人（前年度対比100.9%）、国際線3,856千人（前年度対比110.3%）、合計23,633千人（前年度対比102.3%）の実績となりました。

貨物の取扱量につきましては、国内線165,078トン（前年度対比85.9%）、国際線23,120トン（前年度対比136.5%）、合計188,198トン（前年度対比89.9%）の実績となりました。

今後もアジア、北米、ヨーロッパの旅客定期便の就航に期待しているところであり、関係機関への協力を引続き行っていく所存であります。

(2) 事業の経過について

当期の輸出は、生鮮類のホタテが安定的に増加し魚介類の取扱量で前期比5,853トンの増となりました。漁業者のホタテ養殖技術が水産試験場との実験等で年々進歩し漁獲量が増加し市場での大きな需要と供給のバランスがとれ、4月から12月迄過去にない取扱量が続きしました。1月から3月は噴火湾のホタテの死滅、浜値の高騰や中国経済の減速などが影響し、取扱量が減少しましたが輸出量は18,277トンで前期比較6,179トンの増となり前期対比151.1%となりました。輸入は、機械類や青果物が減となりましたが、継越貨物の取扱量は前期比較158トン増により輸入量は4,843トンとなり、前期比較8トンの微増となりました。

輸出入合計では、23,120トンで前期比較6,188トンの増、前期対比136.5%となりました。

地域別取扱高は、輸出ではアジア地域が全体の91.7%を占め、次いで北米地域が6.6%、ヨーロッパ地域1.5%、オセアニア他地域が0.2%となりました。

輸入ではアジア地域49.9%、ヨーロッパ地域32.4%、北米地域14.1%、オセアニアその地域が3.6%となりました。

(3) 事業収支について

今期の売上高は640,702千円、前期比較173,367千円の増、前期対比は137.1%となりました。全体の取扱量は、輸出貨物が151%と激増し、輸入貨物はほぼ前年並みとなりました。一方支出は、売上原価は359,063千円、売上総利益は前期比較79,459千円増の281,638千円となりました。販売費及び一般管理費は、56,156千円となり、前期比較19,761千円の増となりました。

この結果、営業利益は225,482千円となり前期対比136%となりました。営業外収益は保有公債の利金、預金利息や雑収入で706千円となりました。以上により226,188千円の経常利益を計上することが出来ました。

特別損失は固定資産除却損924千円を計上しました。

そして法人税、住民税及び事業税の計上分70,900千円、法人税等調整額を△1,817千円計上した結果、当期純利益は156,181千円となりました。

(4) 財産及び損益状況の推移

期別	第30期	第31期	第32期	第33期
区分	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
売上高 (千円)	273,136	301,564	467,335	640,702
経常利益 (千円)	87,224	73,264	167,055	226,188
当期純利益 (千円)	56,575	48,916	125,283	156,181
1株当たり 当期純利益 (円)	2,828.76	2,445.81	6,264.17	7,809.09
総資産 (千円)	770,812	823,154	991,862	1,163,180
純資産 (千円)	709,616	758,532	883,816	1,039,997

(5) 主要な事業内容

- ①貨物の取扱、荷役、保管及び運搬
- ②航空会社専用上屋における荷役等の請負
- ③航空機からの貨物の取卸、搭載及び運搬
- ④上屋、手倉、事務所及び国際貨物代理店棟などの賃貸並びに管理
- ⑤くん蒸施設の建設及び運営
- ⑥その他

(6) 主要な営業所等

本社 札幌市中央区北4条西4丁目1番地
新千歳空港貨物事業部 千歳市平和1388番地7

(7) 使用人の状況

従業員数50名 (男子21名、女子14名、パート15名)

2. 会社の株式に関する事項

- (1) 会社が発行する株式の総数 40,000株
(2) 発行済株式の総数 20,000株
(3) 当事業年度末の株主数 75名
(4) 上位10名の株主

株主名	持株数	持株比率(%)
(株)日本政策投資銀行	2,000株	10.00
北海道	2,000株	10.00
(株)北洋銀行	1,000株	5.00
(株)伊藤組	760株	3.80
(株)みずほ銀行	700株	3.50
札幌市	600株	3.00
三井物産(株)	600株	3.00
日本トラスティ・サービス信託銀行	600株	3.00
伊藤組土建(株)	600株	3.00
北海道電力(株)	600株	3.00

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等

平成31年3月31日現在

氏名	地位	他の法人等の代表状況等	
伊藤 義郎	代表取締役会長	(株)伊藤組	代表取締役社長
高井 修	代表取締役社長	(株)伊藤組	代表取締役会長
窪田 毅	取締役副社長	北海道	副知事
笠原 純一	常務取締役	伊藤組土建(株)より出向	
本間 奈々	常務取締役	(株)伊藤組より出向	
遊佐 貴志	取締役	北海道	総合政策部交通政策局 交通・物流連携担当局長
吉澤 織夫	取締役	(株)伊藤組	監査役
山口 幸太郎	取締役	千歳市長	
岩倉 博文	取締役	苫小牧市長	
曾我部 康	取締役	エアウオーター(株)	常務取締役 北海道代表兼北海道支社長
高橋 浩	取締役	日本通運(株)	執行役員 北海道ブロック地域総括 兼札幌支店長
能登谷 淳	取締役	三井物産(株)	北海道支社長
蜂須賀 一世	取締役	(株)日本経済研究所	代表取締役専務
吉岡 亨	取締役	札幌市	副市長
黒田 豊志	取締役	(株)JALスカイ札幌	千歳旅客部部长
中村 雄志	取締役	ANA新千歳空港(株)	取締役総務部長
出倉 正浩	監査役	(株)伊藤組	監査役
栗林 和徳	監査役	(株)栗林商会	代表取締役社長
鈴木 英一	監査役	伊藤組土建(株)	代表取締役副社長

- (注) 1. 取締役窪田毅、同遊佐貴志、同高橋浩、同能登谷淳、同黒田豊志、同中村雄志は平成30年6月25日第32期定時株主会において新たに選任され就任いたしました。
2. 取締役山谷吉宏、同阿部浩文、同中島喜一、同青山陽一、同新川新一は、平成30年6月25日辞任いたしました。
3. 監査役出倉正浩、同栗林和徳、同鈴木英一は社外監査役であります。

(2) 監査役の報酬等の額

監査役1名 600千円(社外監査役)

4. 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

EY新日本有限責任監査法人

貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日 現在

札幌国際エアカーゴターミナル株式会社

単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【760,339】	【流 動 負 債】	【84,904】
現金及び預金	690,690	未払金	672
売掛金	40,565	未払費用	24,301
未収収益	5	前受金	1,690
未収入金	27,685	未払法人税等	48,725
前払費用	52	賞与引当金	8,513
その他	1,341	その他	1,001
【固 定 資 産】	【402,840】	【固 定 負 債】	【38,278】
(有形固定資産)	(379,761)	退職給付引当金	38,278
建 物	252,782		
構 築 物	106,526	負債の部合計	123,182
機 械 及 び 装 置	14,917		
車 両 運 搬 具	153	純 資 産 の 部	
工 具 器 具 備 品	5,380	【株 主 資 本】	【1,039,997】
(無形固定資産)	(1,323)	【資 本 金】	【1,000,000】
電 話 加 入 権	581	【利 益 剰 余 金】	【39,997】
ソ フ ト ウ ェ ア	741	(その他利益剰余金)	(39,997)
(投資その他の資産)	(21,755)	繰越利益剰余金	39,997
投 資 有 価 証 券	2,508	純資産の部合計	1,039,997
従 業 員 長 期 貸 付 金	23		
ゴ ル フ 会 員 権	36		
繰延税金資産	19,188		
資産の部合計	1,163,180	負債・純資産の部合計	1,163,180

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

札幌国際エアカーゴターミナル株式会社

単位：千円

科 目	金	額
【売 上 高】		640,702
【売 上 原 価】		359,063
売 上 総 利 益		281,638
【販売費及び一般管理費】		56,156
営 業 利 益		225,482
【営業外収益】		706
受 取 利 息	289	
雑 収 入	417	
【営業外費用】		
雑 損 失	0	
経 常 利 益		226,188
【特別損失】		924
固定資産除却損	924	
税引前当期純利益		225,264
法人税、住民税 及び事業税		70,900
法人税等調整額		△ 1,817
当 期 純 利 益		156,181

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

札幌国際エアカーゴターミナル株式会社

単位：千円

	株 主 資 本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主 資本 合計	
		繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計		
当期首残高	1,000,000	△ 116,183	△ 116,183	883,816	883,816
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	-
当期純利益	-	156,181	156,181	156,181	156,181
当期変動額合計	-	156,181	156,181	156,181	156,181
当期末残高	1,000,000	39,997	39,997	1,039,997	1,039,997

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの 移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法

ただし平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに平成28年4月以降に取得した建物付属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づいて計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付（自己都合要支給額）に基づいて計上しております。

(4) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

2. 表示方法の変更に関する注記

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用の伴う変更）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 425,032千円

(2) 有形固定資産の取得原価から控除している圧縮記帳累計額

建物 21,885千円

機械及び装置 5,430千円

4. 損益計算書に関する注記

該当する事項はありません。

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の総数20,000株

当事業年度の末日における自己株式及び新株予約権はありません。

また、当事業年度中に行った剰余金の配当はありません。

6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

退職給付引当金	11,659 千円
賞与引当金	2,593 千円
未払事業税	3,027 千円
その他	1,908 千円
繰延税金資産合計	19,188 千円

7. リースにより使用する固定資産に関する注記

該当する事項はありません。

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金や安全性の高い金融資産に限定しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成31年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	690,690	690,690	—
(2) 投資有価証券 その他の有価証券	—	—	—

(注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(1) 現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 非上場株式(貸借対照表計上額 2,508千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、(2)投資有価証券には含めておりません。

9. 賃貸等不動産に関する注記

該当する事項はありません。

10. 関連当事者との取引に関する注記

役員及び個人主要株主等

(単位：千円)

種類	会社等の名称又は氏名	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引内容	取引金額(注3)	科目	期末残高
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社等	伊藤組土建株式会社(注1)	被所有直接3%	役員の兼任	工事の発注(注2)	44,500	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 当社代表取締役会長伊藤義郎が議決権の99.9%を直接保有しております。

(注2) 数社からの見積りを勘案して発注先と価格を決定しております。

(注3) 取引金額、期末残高には消費税等を含めておりません。

11. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額

51,999円89銭

1株当たり当期純利益

7,809円09銭

12. 重要な後発事象に関する注記

該当する事項はありません。

附属明細書（計算書類関係）

（第 33 期）

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細
2. 引当金の明細
3. 販売費及び一般管理費の明細

札幌国際エアカーゴターミナル株式会社

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

31.03.31

札幌国際エアカーゴターミナル株式会社

単位：千円

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価
有形 固定 資産	建物	54,357	209,429	174	10,829	252,782	302,605	555,388
	構築物	28,856	85,666	720	7,275	106,526	85,304	191,831
	機械及び装置	7,866	9,120	-	2,069	14,917	27,304	42,222
	車両運搬具	267	-	30	83	153	1,503	1,657
	工具器具備品	1,178	4,674	-	472	5,380	8,313	13,694
	建設仮勘定	110,000	-	110,000	-	-	-	-
	計	202,526	308,889	110,924	20,730	379,761	425,032	804,794
無形 固定 資産	電話加入権	581	-	-	-	581	-	581
	ソフトウェア	827	300	-	385	741	1,412	2,154
	計	1,409	300	-	385	1,323	1,412	2,735

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当期増加額のうち主なものは次のとおりであります。

建物	貨物取扱施設増設工事	207,258千円
構築物	貨物取扱施設外構工事	35,292千円
構築物	駐車場拡張工事	46,250千円

2. 引当金の明細

31.03.31

札幌国際エアカーゴターミナル株式会社

単位：千円

区 分	期首残高	当期 増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	6,392	8,513	6,392	—	8,513
退 職 給 付 引 当 金	34,701	3,577	—	—	38,278

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3. 販売費及び一般管理費の明細

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

札幌国際エアカーゴターミナル株式会社

単位：千円

科 目	金 額	摘 要
役 員 報 酬	600	
給 与 手 当	19,395	
雑 給	301	
賞 与	3,507	
賞 与 引 当 金 繰 入	1,349	
退 職 給 付 費 用	492	
法 定 福 利 費	3,970	
福 利 厚 生 費	2,888	
水 道 光 熱 費	143	
租 税 公 課	12,966	
通 信 費	454	
消 耗 品 費	1,793	
新 聞 図 書 費	149	
交 際 接 待 費	218	
寄 付 金	30	
会 議 費	195	
調 査 研 究 費	2,578	
旅 費 交 通 費	1,332	
広 告 宣 伝 費	110	
支 払 手 数 料	345	
諸 会 費	619	
業 務 委 託 費	1,210	
保 険 料	40	
減 価 償 却 費	353	
雑 費	1,111	
合 計	56,156	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。